

夏休みについて調査 37.9%の人が「休みがない」と回答

休みの予定は33.9%が「家でだらだら」という結果に・・・

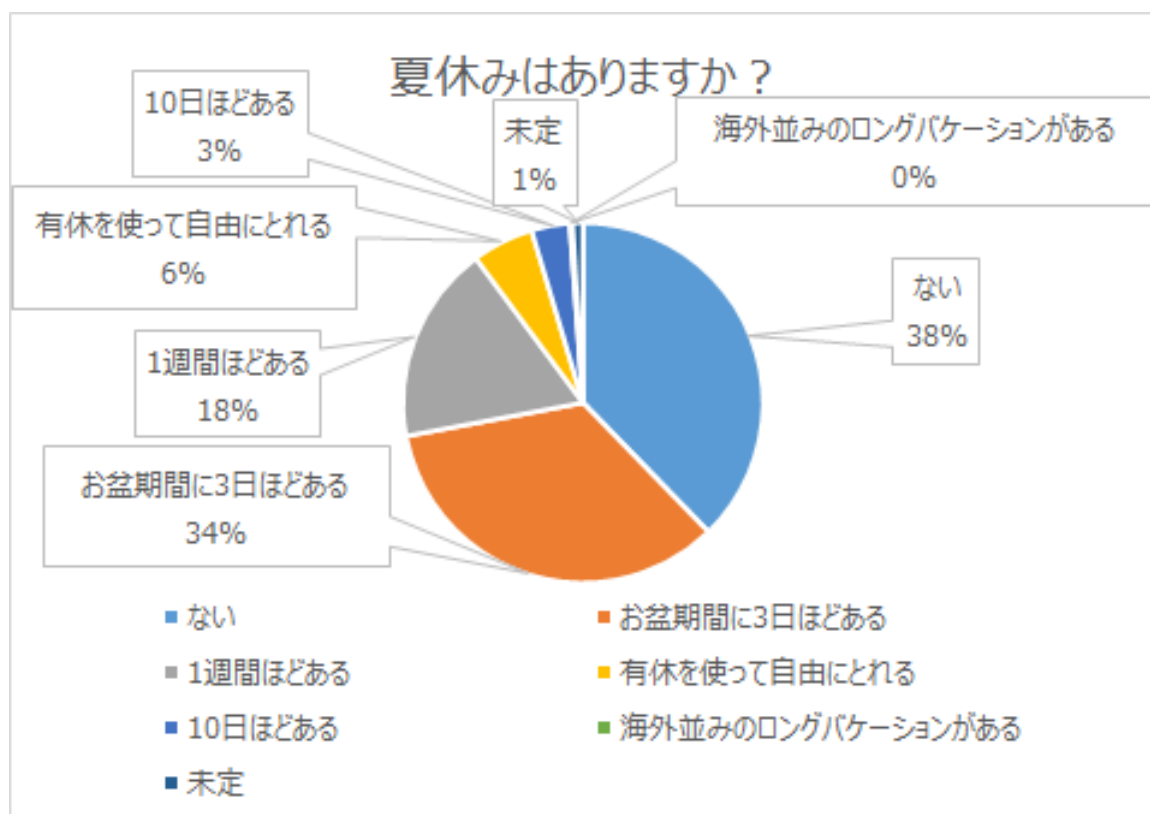
～瓦版「働き方白書」夏休みの予定実態調査～

全研本社株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：林 順之亮）が運営する働き方と天職を考えるウェブマガジン「瓦版」(<http://www.w-kawara.jp/>)では、8月のお盆期間にある夏休みについて調査いたしました。

調査結果詳細 <http://w-kawara.jp/work-styles-white-paper/summer-vacation/>

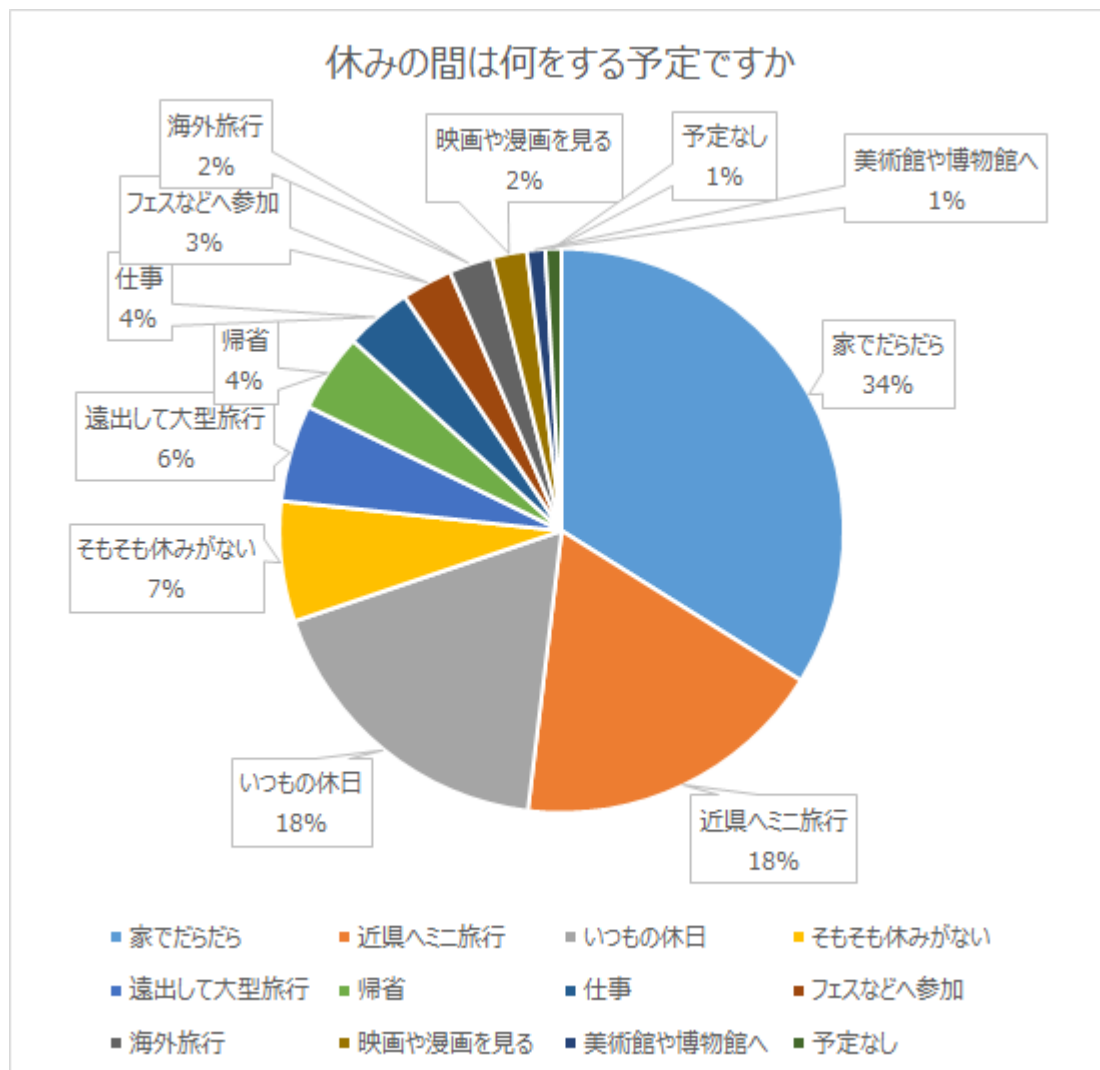
ビジネスパーソンの働き方を調査する瓦版リサーチ企画「働き方白書」。今回は、近づいてきた夏休みについて調査しました。どれくらいあるの？ 何をするの？ 果たして結果はどうなったのでしょうか。

対象は瓦版ユーザー。男性370人、女性385人の計755人。年代は20代384人30代183人40代132人その他56人。ではみてみましょう。



そもそも休みはあるのでしょうか。トップは、なんと「ない」で 37.9%でした。次いで「お盆期間に3日ほど」(34.4%)でした。両者の差はわずかでしたが、意外といえる結果となりました。それでも3位は「1週間ほどある」(17.9%)で、夏休みらしさが出てきます。

4位の「有休を使って自由に取れる」(5.6%)は、夏休みシーズンに限らず、それなりの期間休めるということなのでしょう。「10日ほどある」は3.4%でした。さらに「海外並みのロングバケーション」も0.3%いました。外資系の企業でしょうか？うらやましいですね。



こうした結果に呼応するように、夏休みになにをするのかも、やや消極的なものとなっています。一位は「家でダラダラ」(33.9%)、次いで「近県へミニ旅行」(18%)、3位「いつもの休日」(17.9%)となりました。「帰省」は意外に少なく4.5%でした。

今回の調査では20代が半数以上ということもあり、休みが少なめで、加えてあまりお金もないと推測され、こうした結果になった側面があるのかもしれませんが。また、未婚者が多いと予測され、行動が自分寄りになっていた印象です。

ちなみに、海外に目を向けると、ヨーロッパでは最低でも2週間、フランスでは1か月も珍しくありません。アメリカの場合は1週間が一般的ですが、取らない人もいます。また、中国、韓国では夏休みに関しては2、3日と短めが多いようです。夏休みに関してはお国柄も結構出るようです。

■ 調査概要

調査方法 : インターネット調査
調査期間 : 2015年5月13日～7月9日
有効回答者数 : 755人
回答者の属性 : 20代 50.9%、30代 24.2%、40代 17.5%、その他 7.4%
男女内訳 : 男性 49.0% 女性 51.0%

■ 働き方と天職ウェブマガジン「瓦版」とは

瓦版

働き方はいま、少子高齢化とテクノロジーの進化によって、過渡期を迎えています。もはや企業の寿命よりも人が働く期間のほうが長い時代です。「瓦版」では、働き方が新しいカタチへとシフトしていく中で、多様化する価値感や働き方に着目。様々な道にスポットを当て、一人でも多くのワーカーが、自分に合った働き方(天職)にたどり着けるお手伝いをしたいと考えています。激変する社会環境の中で、より最適なあり方を探求する企業、より自分らしさにこだわるワーカー…。瓦版は、「働く」を構成するあらゆる要素に広くアンテナを張り巡らせ、最先端の情報を発信し、「働く」を様々な角度から考える糧とヒントと議論の場を提供します。

URL : <http://www.w-kawara.jp/>

■ 会社概要

会社名 : 全研本社株式会社
代表者 : 代表取締役社長 林 順之亮
所在地 : 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-4-11 全研プラザ
設立 : 1975年(昭和50年)5月2日
資本金 : 56,050,000円
グループ資本合計 : 1,003,430,000円
URL : <http://www.zenken.co.jp/>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

全研本社株式会社 eマーケティング事業本部

Tel : 03-5324-2581